

大 豊 町 の 概 要

位 置	東經 133度37分	北緯 33度56分
面 積	320.56平方杆	東西 32杆
	南北 28杆	部落數 87
人 口	11,521	男 5,526 女 5,995
世帯數	3,682	(9月末日現在住民基本台帳調)



昭和50年11月20日発行

全世帶配布

編 集 館 報 大 豊 編 集 委 員 会
発 行 大 豊 町 中 央 公 民 館
印 刷 高 知 印 刷 株 式 会 社

1億517万余円を補正

9 月定例議会

大田口 小学校 体育館着工へ

川口南簡易水道を新設

大豊町九月定例議会（第一五八回）は九月三十日開会、昭和五十年年度一般、特別両会計補正予算決定に関する議案、四十九年度一般、特別各会計にかかる歳入歳出決算認定など重要案件を処理して、十月六日討論採決一週間の会期を閉じた。

この議会では、懸案の大田口小学校体育館の建築が五十一年度債務負担によって完

成の見通しを得たほか、川口南簡易水道施設新設事業、任期満了となった教育委員の選任同意議案などが主な内容で、各会計を合せた補正総額は一億五一七万九千円となり、当初からの累計総額では一七億三五八〇万五千円となった。

門田町長の議案説明の要点は概ね次の通

[illegible]

今回の補正予算は、災害
計総額は、一四億六九二万
四千元となる。その内容の
主なものを歳出から申し上げ
ておきます。所要額が五億二
千九百九十九万七千七百七
十円を補正した。

の他緊急止むを得ない経費
の計上にとどめた。

◎雑費
千円等合計七万八千円を
措置した。

◎商工費
財団法人大豊町銀光協会

その結果、四十八年度から繰り延べとなっている町営特別定員外活動員を、

補助金として一千八百八万円を措置。
◎衛生費
ダム対策及び工業導入関

◎土木費
道路維持費三〇万リ、
環境施設（給水施設）整備
此単独事業、礪谷地区生活
有特別委員会、清重所要経費
として九三万円

ととなり誠に遺憾に存ずるところである。今後は町
◎総務費
工事費一四万六千円、その他実情に照らし合計一五
八歳線改良工事費二萬三
門、西峰小中グラウンド等

取合道改良工事費一〇〇万円、落合橋架設工事費五〇

財政措置その他の動向を把握して見通しを得次第各用地造成に關連する住宅移設工事費一〇〇万円、農道集落補強事業小川橋梁架〇万円、かけ地近接危険住宅移転事業補助金六七万二

九〇万円、中州グラウンド
門、農道後木線外七件の改
千円等合計一千一九五万
千円を措置した。

昭和五十年度大豊町一般	議案	整理工事費三〇万円、管内 地國代三〇万円、その他実 情に基き一〇〇万円	良新設工事費補助金六三二 万五千円、その他事務費等	◎消防費 東上町消防局へ貸与した一
-------------	----	---	------------------------------	----------------------

林業
補正
案

計に補正予算決定に関する
四、その他徴収費で五十一
円、選考費で成金三万円
費においては、林道補修工
う消火栓等六七万円、嶺北
現土居簡易水引竈設置件
四八万三千円を補正。林業

一般會計の今回の補正額
四、統計調査費五万五千
円を実情と照らして補正
事業立川三谷線開設工事
の事業費置留と半分の二
万七千一百七十九千円で累
計

くり
立金

長に三谷進一郎氏

委員では小島氏を再選

町長 清水五郎
副町長 小島貞夫(55)大田口
新委員長 各務 新一
郵便局 簡易局

期満了となったので、新二氏を指定した。

に議会の同意を得て同氏
に再任命された。これに伴
り、新委員会の組織は次の通
りである。
会長 田中（6才）町和十
二 年五 月 東 豊 永 信 用 販
売 協 会 組 合 監 事 倉 野 三
郎

住みに簡便な住宅を建設する事業として、国

に教育委員会ではたために委員長の
組織会を開いて委員の互選
三谷進一郎(69)怒田
事、二十一年農林省高知食
糧事務所農林支官、四十七
して親しまれ信頼されなが
営保険と

委員長職務代理
岡林 良治(63)高瀬
年十月一日付で現在まで教
育委員及び委員長代理を歴
という巨大な事業で成長し

委員長職務代理に岡林良治 委員長教育長

負担金四九万五千円、消防
車所等の修繕費三万三千
円等合計一七六万八千円を
措置。

◎教育費

教育総務費二二万円、小
学校費八万七千三百円、中学
校費二万七千三百円、社会教
育費一十一万九千四百円、財
政収入五十六万四千円、財産
収入三〇〇万円、寄附金二
三三八万九千円、繰越金二
千二百四十三千円、諸収入
五〇三万円及び町債一千七
〇万円をそれぞれ計上した。

○昭和五十年年度大豊町国民
健康保険特別会計補正予算
現在使用中のバスの老朽化

出決算認定に関する議案
▼昭和四十九年度大豊町暫
易水道特別会計歳入歳出決
算認定に関する議案

出決算認定に関する議案
▼昭和四十九年度大豊町代
替輸送事業特別会計歳入歳
出決算認定に関する議案

以上十四議案は監査委員の
審査が終了したので、地方

育費二万八千円、保健体育費二万八千円をそれぞれ措置。大田小学校体育館建築にかかる昭和五十一年度債務負担行為の補正については、特別教養館の移転等の経費三〇〇万円を追加補正措置したことによる変更である。

◎災害復旧費
県の事業割当の遅延等により被災復旧費（事業費）の繰上り繰下りがある。今回の繰上り繰下り額は、本年度不足見込分として、療養費五万六千四百円、高額療養費五万四千五百円を追加計上し、助産費については、本年七月一日から助産費支給額二万円を四万円に改正したことに伴う本年度不足見込分として、本年度不足見込額二万円を四万円に改正し、昭和四十九年度大豊町国

今回の補正額は九四〇万円九千円で累計二億六千三十三万九千円となるものである。歳出においては医療費の増需等により本年度の不足見込分として、療養費五万六千四百円、高額療養費五万四千五百円を追加計上し、助産費については、本年七月一日から助産費支給額二万円を四万円に改正したことに伴う本年度不足見込分として、本年度不足見込額二万円を四万円に改正し、昭和四十九年度大豊町国

期の運行に支障をきたす状態となったので、正常な運行を図るためバス購入費三〇五〇万円を措置した。これに対する歳入は、一般会計よりの繰り入金二〇万円、町債三三〇万円をそれぞれ

昭和四十九年度大豊町一
般会計歳入歳出決算認定に
関する議案
◎昭和四十九年度大豊町国
民健康増進事業費の繰上り繰下り額の決定等に関する議案
自治法の定めるところに
基づき、監査委員の意見書
を付して提出したもので、
主要な施策の実績等につ
いては別冊を参照願いたい
◎大豊町教育委員会委員
任命等議案
本案は、小島貞夫委員が
本月三十日まで任期満了
となるので、後任委員を
任命することについて議会
の同意を得たいと考える
ものである。

用施設災害復旧費（事業二件）一千四百八十二万円をそれぞれ減額し、林道災害復旧費で仁尾管内林外二線の仕事費六千三百八十二万円、農林施設単独災害復旧費四三万円、公共土木災害復旧費で町道サキウチ線外十一件の事業費一千四百三六万円、車独土木災害復旧費一〇〇万円をそれぞれ措置した。

以上が歳出の主なもので

昭和五十年年度大豊町簡易水道事業特別会計補正予算決定に関する議案

補正額二千五百一十千円で累計五千七百一十千円となる。歳出においては各簡易水道施設の修繕料一三三万九千円、大田口簡易水道管布設地の崩壊による送水管の付替工事費一九五万円、川口南簡易水道施設新設事業費一千七百九千円等を措置した。これに對

十二月四日からの十日間の人権週間です。十七年前の一九四八年十二月十日第三回国際連合総会では、人権擁護委員の自宅や満場一致で世界人権宣言

今年の強調事項を含めて、人権は自他ともにあり、共存するということを共に深く考えたいと思います。

でも、もしこれは人権問題でないだろうかと思ったり、法律上どのようなものか判らないで困っているとか、人権擁護委員の自宅や事務所、その支局または人権擁護委員に御相談下さい

町にも

億余万円を融資

ところで加入者から払い込まれる保険料は、将来保るような施設の建設資金として、その地方の簡易保険に用入されることになりま

した。

これをうけて世界の国々では、毎年十二月十日を最終日とする一週間を人権週間と定め、活発な人権の啓発活動にとりめています。

今年は二十七回目の人権週間にあたりますが、高知地方事務局と高知県人権擁護委員連合会では、関係諸機関とともに、県下各地において講演会、座談会、特設人権相談等の各種の行事を行い、広く地域住民に人

本町の人権相談日は十一月五日午前十時から午後三時までで場所大豊町役場。人権擁護委員
三谷進一郎（怒田）
「三谷一郎（東寺内）」
小笠原義男（中相）

国勢調査の結果

一、四二七人減少

十月一日行われた国勢調査の結果、本町の人口は男五二九九人、女五七一四

されてはいますが、その金額は現在約六兆円にも達しています。

この積立金は、加入者の信託財産ですから加入者の利益になるよう郵政省で確実で有利な方法により運用を受けています。

東豊永小などのような施設、事業に対し昭和五十年十月末現在で一億四千九十八万五千円もの多額の融資を受けています。

格意識の高揚を呼びかけています。

この第二十七回人権週間における強調事項は、『子供の人権尊重』『婦人の地位向上』及び『同和問題の解消』です。この人権週間を機会に私達ひとりひとりと

人、合計二、〇一三人となりました。前回より一、四二七人減っております。減少率はややにぶいがやはり過疎現象、とくに土佐、長岡両郡の減少が著しいようです。なお高知県の人口は八十万八千三百六十七人。

去る七月二十四日、須崎港の岸壁を離れた第五回高知県青年の船、つばし丸（二万一千トン）は、県内二百二十三名の青年と明治青年十二名、国際婦人年で初めて乗船した婦人特別班六名を含めて総員三百六十八名の夢をのせて黒潮を南下した。きびしい船内研修を行ないながら、七月二十八日フィリピンのサン・フェルナンドに入港、ベンゲット州と姉妹県調印、フ

フィリピンの農業事情

大豊町教育長 渡辺盛男

研修しながら・・・ 青年の船に乗船して

フィリピンは農業国である。年に米が三度もとれる。従って日本の技術指導をもつて、青年協力隊の方々の話と輸出となるのも遠い口ではあるまい。

第五回高知県青年の船に顧問の一員として参加の



農業が第一の産業 生産性が低いので供給不足

の富を支配しているとい



インゴロット族の民家と少女達

フィリピン第一の産業は農業であり、農民は全労働人口の過半数を占めているが、米の生産は国民を飽



フィリピンの青年達と交流を深め、見聞を広めて香港寄港、十五日間の研修成果を持ち帰った。本町からは青年七、うち明治青年一、顧問一計八名の団員が乗船し八月七日焼けた元気の姿で帰港した。これら乗船者のうち六名の方からご投稿いただいたので次の通り掲載する。

高知県青年の船団員壮行会



日本に生まれた幸せ もう一つの豊かさを考える

松岡

豊(22才)

各地区の青年の生き方、なやみや苦しき、地域の様子など活発な意見が交わされ、楽しく語り合えたことがわくわくする顔で朝のつどいに集り食事、清掃の順で、八時四十分午後九時までは研修生活、その中に自由時間が含まれていて、各団員との友情を深めるための交歓会等もあつた。



三才余をのせた第五回高知県青年の船、つばし丸。私の生涯を通じて一度あるかないかの外国の地を踏むことの出来るように、本当に自分恵まれ過ぎていた。行動範囲の限られた船内の団体生活、有意義な研修内容等、この体験は大きな心の財産となり、私の胸に深く刻みこまれそれが大きくくらんでいくように感じている。

七十才到達日前の証明について

傷害福祉年金

同年代の仲間に興味 先輩にはじめ活動をした

北村 治(26才)



青少年センターで一回、二回と事前研修を済ませて、待ちに待った七月二十四日、今日が外国への出発かと思うとなく緊張と不安で胸が一杯である。親しくなった友人達が「おっす」「おっす」の挨拶を交わしながら元気な顔で集

お見送りをつけていよいよ出航となり船内生活に入る。皆の顔付はなにやら希望でみなぎっているかのようでした。私もなんでもいから沢山のことを学び、何かを身につけて先輩達に恥じないように頑張らなくってと張り切る思いでし

国民参政85周年
ことは 普通選挙50周年 の年
婦人参政30周年

選挙を通して政治に参加する。
ことの意義を考え、日頃からき
れいな選挙を心がけましょう。

(選挙をキレイにする国民運動推進本部
選挙をキレイにする国民運動高知県本部
大豊町あかるい選挙推進協議会)



団体旅行の寄付や差し入れ



結婚のお祝い金やお祝い品



お祭りなどの寄付、お酒など



出産・入学・卒業の
お祝い品やお祝いのお金

贈ったり、求めたり
受け取ってはいけません



落成式や開店祝いの花輪



お葬式の香典、花輪、供花



食事やおみやげ



お中元やお歳暮



集会などの飲食代



旅行のお銭別

こういうことは
法律で禁止されました

政治家や候補者などは身
辺をきれいにしなければな
りません。
そこで、選挙区内の人に
寄付をすることは法律で禁
止されました。
いつ、いかなる場合でも

や品物などを贈ることはで
きません。
政治家や候補者などにお
祭りや運動会などの寄付を
したと法律違反になりま
す。これを漫画で掲載いた
しました。

大正琴
長い間、淡いあこがれを
持っていた大正琴を習うこ
とになった。生まれて初め
て楽器と名のつく物を手に
してうれしかった。
月二回、懐中電灯を手に
仲間たちと教室へ行く。最
初の晩に先生が、「三組に
分かれて弾いて」といわれ
た時、周囲の音がきれいに
弾けるのに、私だけは全然
手が出なかった。内心ペソ
をかく思いだった。
夕食後「われ固せず」と
ばかりに、ごろ寝の主人を
横目に琴を持ち出す。「情
感を込めて弾いて」との先
生のお言葉だけれど、まだ
それどころではない。譜面
すら読めない。(中西)

◆前号選挙特集一頁の明
るい選挙記事で役員の「改
選」が「改正」に、二頁の
山崎さんの投稿記事で公平
無「私」が「私」にそれぞ
れ間違っており、また、校
正時の不注意でしんぞん
びします。
◆十月は雨が多かったた
め種刈りから順次農作業が
おくれ、「秋こそ」は北風
と刈り分け、「まあ、米
年の春、ぜんまい」が出る
まで刈ったら上等じゃ
ない。」と云う婦人の声もほ
つと耳にするこの頃。
◆過疎の町であわてても
いきまします。無病息災な
らまことに結構。(中西)

編集後記
この記事は十月三十日の
高知新聞(あけぼの)に登
載したものを、本人の許可
を得て婦人の皆さんにお届
けします。町内にはいま大
正琴のグループが六つ(百
五十八人)あります。生活
文化を高めるために三谷さ
んに負けないよう練習に励
んで下さい。
(連合婦人会・文化推進協
議会)

少しは気持ちに余裕が持
てるようになった今は、自
分のペースで琴を弾きみつ
つ、一曲こなせるようにな
った時のうれしさを思い、
今夜も練習する。
(西条三谷、三谷英
美・農業・50歳)

とにらめっこしていると、
手の方が留守になる。手に
気を付けていると、譜がわ
からなくなる。
長い年月の農作業に、ヤ
ツデの葉っぱを思わせる私
の大きな手は、思うように
動かない。若い人ならすい
すいとこなせる曲も、私に
はそう簡単にはいかない。
でもM子さんがいついて
た。「いつかの発表会に六
十すぎたおばあさんがきれ
いに弾いたらいいぞね」。先
生のお言葉も「途中でやめ
るくらいなら、最初からや
らなければいい」だ。それ
に、まだまだ若い者に負け
ないファイトもちょっぴり
ある。